

事業の内容

事業目的・概要

- Society5.0の実現のため、イノベーションの担い手であるスタートアップ企業は重要な存在ですが、我が国発のユニコーン企業（創業10年未満で時価総額10億ドルを超える企業）は依然として少ない状況です。世界ではイノベーションの聖地といわれるシリコンバレーのみならず、「フレンチ・テック」を旗印に世界各国に進出するフランスや、「中東のシリコンバレー」と呼ばれるイスラエル、シリコンバレーに匹敵するといわれる中国深圳など、各国・各地域間でのスタートアップ・エコシステム競争が激化している状況です。
- 今後、第4次産業革命の下で、我が国の国際競争力の向上のため、スタートアップ・エコシステム（グローバルにインパクトを生み出す起業家やスタートアップ企業、イノベーション企業が自律的、連続的に生み出される仕組み）を強化し、世界で勝てるスタートアップ企業を次々と創出することが急務です。
- 本事業では、「J-Startup」に参加する企業のニーズを的確に把握し、各フェーズに合った支援を行い、ユニコーン企業への成長を促進します。また、ユニコーン企業の創出に向け、グローバルに活躍できるイノベーターの育成やものづくり系スタートアップ企業の量産化等の支援を実施し、スタートアップ・エコシステムの基盤となるプレイヤー層を強化します。
※「J-Startup」とは、グローバルで活躍できるスタートアップ企業を官民により集中支援する取り組みです。

成果目標

- (1) 2023年度までに、時価総額10億ドル以上となる、非上場企業（ユニコーン企業）または2018年度当初時点で創業10年未満（未創業も含む）であった上場企業を20社創出。
- (2) 300件の海外展開支援件数を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1) J-Startup企業への海外支援

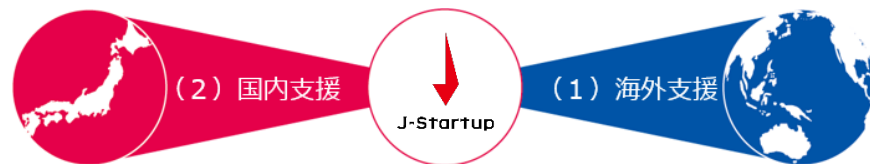
- J-Startup企業等について、海外のスタートアップイベントへの出展をサポートするとともに、国内および海外10地域程度に設置するハブでニーズに応じた支援（現地ネットワークとのマッチング、メンタリング等）を継続的に実施します。その際、海外の企業やスタートアップとも連携等を図り、グローバル・スタートアップ・エコシステムのさらなる強化を図ります。

(2) J-Startup企業への国内支援

- J-Startup企業等に対し一気通貫で支援する体制を構築するため、国内のVCや支援機関、さらには地方自治体や大学・研究機関が連携する「J-Startupコンソーシアム」を形成し、戦略的広報やマーケティング等の支援等をハンズオンで実施できる体制を構築します。
- 特に日本の強みであるものづくりの量産化・設計・試作等を支援する事業者と協力して事業を行う、ものづくり系J-Startup企業等を支援します。
- また、グローバルで社会課題解決を目指すスタートアップ企業については、我が国の優位性を発揮する分野を特定し、現地でのルール形成やビジネス創出を一貫支援することで、SDGs分野におけるイノベーション創出を加速します。

(3) スタートアップ・エコシステムの基盤強化

- 起業当初よりグローバルで活動する事業モデルを構築できるようなイノベーターを育成し、スタートアップ・エコシステムの基盤を強化します。
- また、各種施策の利用促進、効果測定等のための調査等を実施し、スタートアップ企業の成長を促進する環境を整備します。



(3) スタートアップ・エコシステムの基盤強化